



新しい職員のご紹介

4月1日より看護補助者として働くことになりました石橋勇次と申します。

以前はデイケア、小規模多機能型居宅介護施設で3年程勤めておりましたが違う環境で知識・技術の向上を目指したいと思い、青山病院でお世話になることになりました。

前の職場とは仕事内容も違い、新しく覚えることも多くあって楽しさ、やりがいを実感することができています。

以前は通所利用の利用者さんに対して自宅での機能向上を目指し、リハビリを中心としたプログラムを理学療法士、作業療法士と連携して設定していました。

青山病院では主に看護師と連携し、以前とは違う視点で患者様がどうしたら過ごしやすくなるのかを考えるようになりました。

各々の業務に対して少しずつ体が覚えてはきていますが、中には一旦頭で整理してからでないといけない業務もあって他のスタッフより時間がかかってしまう事もありますが、周りの方が丁寧に指導して下さるのでとても良い環境で勉強することができています。

これからもさらに新しい経験を積み、早く看護補助者として成長したいと思っておりますので今後とも宜しくお願いいたします。



熱中症に注意を 看護部 福本慎吾

世界中でコロナウイルスが猛威を振るっていますが、夏になり日本全国で増えているのが熱中症です。

近年日本の夏の暑さはますます厳しくなっており、9月になっても残暑が続くと予想されています。

熱中症予防として、特に注意しなければならないのが夜間の熱中症です。実は熱中症の約4割は夜間に発症しています。

夜は気温が下がるから大丈夫と思われがちですが、夏の日射しによって暖められた壁や天井の影響で、夜間の室温は上昇してしまいます。

さらに寝ている間は水分も取れないため、知らない間に熱中症になってしまうということが起こってしまいます。

この予防として大切なのが適切なエアコンの使用です。適切な室温管理が熱中症のリスクを低下させます。

エアコンをつけたまま寝ると「朝だるい」ということがある方もいると思いますが、その原因は寝冷えです。それを予防するためには、パジャマは長袖長ズボンにし、その状態で快適な温度にエアコンを調整することが大切です。

また、昨今はコロナウイルスの影響でマスクを装着することが増えており、例年に比べ日中の熱中症のリスクも増大しています。

厚生労働省のHPにて「コロナ感染防止×熱中症予防」といった資料を閲覧することができますので、ぜひご参考下さい。

熱中症に注意し元気に暑い夏を乗り切りましょう。



9月19日は苗字の日です。これは明治3年9月19日の「平民苗字許可令」によって平民にも苗字使用が許されたことに由来しています。ただ、「平民苗字許可令」が出ても課税するために苗字を名乗らされたその噂が流布し届け出は少なかつた。8年2月13日に「平民苗字必称義務令」を出し、実際に庶民が名字を名乗るようになったのはこの法律が施行された後からの様です。

持たず、明治時代になって初めて苗字をつけたと習った方も多く思いますが、実は江戸幕府の政策で武士庄屋・大商人など許された人しか苗字を公に名乗れなかつただけです。

明治に新しい苗字を作成した人は全国民の20%と言われ、その中には苗字があつたが時代とともに判らなくなつた、集落の連帯感を表すために同じ苗字に変えた、苗字はあるが良いつい機会なので新しい苗字に変更したという人も含まれており、先祖代々苗字を作成しつづけて明になって初めて苗字を作成したという人は国民の5%程度だと言われています。

江戸時代の庶民にも苗字があつたという説、絶対に名乗ることができず秘密にしていたと思われがちですが、実は気楽にあちこちで名のつていた。寺に灯籠などを寄進する場合、制度的には苗字の公称ができなはずですが、刻まれた寄進者名には必ず苗字がついており、当然屋外には必ずそのことを農民たちが気に留めなかつたのは武士たちが気が苗字を名乗ることをとがめる気がなかつたからという事の証です。

ただ、苗字公称が許されないうちが苗字についで文書の中に苗字つきで名前を書いたら流石にただでは済まなかつたとは思われなかつた。

苗字の日



診療案内

月曜日～金曜日 午前：9時～12時 午後：4時～6時
土曜日 午前：9時～12時 午後：休診
休診日：日曜・祝日・年末年始(12月31日～1月3日)・お盆(8月15日)

担当医

月曜日	午前：青山	午後：内科(交代制)	木曜日	午前：大村	午後：宮里
火曜日	午前：宮里	午後：大村	金曜日	午前：宮里	
水曜日	午前：大村	午後：卜部・森本 (腎臓内科)	土曜日	午後：井料(脳神経内科)	午前：内科(交代制)

季節の風景



山はもう秋